



從三位勲三等水野遵勲位進級ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

明治三十三年六月十五日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

大

内

閣

勳章第一四三號 勳章第一六〇號 六月十五日所裁可

明治三十三年六月十五日

安廣

内閣總理大臣

賞勳局總裁



正四位勳三等水野遵儀明治六年出身以來數官ニ歷任シ勤勞不尠明治二十九年三月勳三等ニ敘セラレ臺灣創始計營ニ力ヲ盡シ尋テ民政局長官ニ任シ三十年ニ至リ官ヲ辭シ貴族院議員ニ勅任セラレ又臺灣銀行創立委員及鐵道國有調査會委員ト爲リ執掌其勞尠カラズ然ルニ目下病氣危篤ノ趣ニ付特別シテ勳二等ニ敘シ瑞寶章ヲ授ケラレ度此致允裁ヲ仰ク

内閣

正四位勲三等水野道八明治四年清國
留學生ト爲リ六年海軍省十等出仕ニ補
シ七年西御臺藩地事務都督ニ随從役
量ニ昇リ長年英漢學校長ト爲リ十六年
ニ参事院議官補ニ任シ法制局参事官
衆議院書記官長ヲ歴リ辦理上使ト爲リ皇
清總督創業事務ニ勤勞シ繼テ同府民政
局長官ニ任シ三十年ニ参リ官ヲ辞シ貴族院
議員ニ就任セリト臺灣銀行創立委員及鐵
道國有調査會委員ト爲リ前後勤勞抄カ
ラ又目下病氣危重ト趣テ有特ニ勲位進級
相成致此致及申候也

内閣

明治三十四年六月十日

岩倉卿大任壽山好方兩



貴族院議長大任壽山好方兩

從三位

正四位勲三等水野道ハ明治四年清國
留學生ト爲リ六年海軍省十等出仕ニ補
シ七年西御臺廣地事務都督ニ随從役
量ニ昇リ長崎英漢學校長ト爲リ十六年
ニ参事院議官補ニ任シ法制局参事官
衆議院書記官長ヲ歴リ辦理上使ト爲リ皇
清總務創業事務ニ勤事ニ從テ同府民政
局長官ニ任シ三十年ニ至リ官ヲ辭シ貴族院
議員ニ就任セリト臺灣銀行創立委員及鐵
道國有調査會委員トあり前後勲勞多カ
ラズ目下病氣危重ト趣テ有特ニ勲位進級
相成致此致及中樞候也

内閣

明治三十四年六月十日

内閣總理大臣大隈重信



貴族院議長大隈重信

正三位勲三等

明治廿三年六月十五日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

賞勳局總裁、申陳案

正四位勳三等水野道、明治四年清國留
學生ト爲リ、六年海軍省十等主計ニ補シ七年
西郷重厚著他事務都督ニ随從海軍ニ昇テ
長崎英語学校長ト爲リ、十六年ニ爲リ参事院
議官補ニ任シ、法制局参事官衆議院書記官

内

長シ、歷テ雜理公使ト爲リ、臺灣總督府創
業事務ニ精進シ、後ニ同府民政局長官ニ
任シ、三十年ニ爲リ官ヲ辭シ貴族院議員ニ
勅任セラル、臺灣銀行創設委員及鐵道國
有調査會委員ト爲リ、前後勸告抄カラス
日下病氣甚重、趣々特ニ勳位進級相
成、此後及申陳候也

内閣總理大臣

内閣總理大臣

明治廿三年六月十五日

明治廿三年六月十五日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

賞勳局總裁、申陳案

正四位勳三等水野道八明治四年清國留
學生ト爲リ六年海軍省十等出仕ニ補シ七年
西郷重厚著他事務都督ニ随從海軍ニ昇テ
長英英漢學校長ト爲リ十六年ニ爲リ参事院
議官補ニ任シ法制局参事官衆議院書記官

内

長シ庶子辦理公使ト爲リ臺灣總督府創
業事務ニ精進シ後ニ同府民政局長官ニ
任シ三十二年ニ爲リ官ヲ辭シ貴族院議員ニ
勅任スルニ臺灣銀行創立委員及鐵道國
有調査會委員ト爲リ前後勲等勲ヲ受
日下病氣危篤ニ趣旨特ニ勳位進級相
成度此段及申陳候也

内閣總理大臣

内閣總理大臣

從五位上進